

議員研修

公共施設などの跡地利用と再配置のあり方を学ぶ

10月23日から24日の日程で、全議員が参加し、長野県木島平村と新潟県新潟市東区を視察研修しました。

木島平村は、村民の意見を取り入れ、空き保育園を若者のための村営賃貸集合住宅に改修し、老朽化した保育園は解体して宅地分譲地として若者の移住や定住促進をはかっていました。

東区は、イトーヨーカ堂の店舗跡を取得し区役所として利用。区民の利便性や意見を重要視して各課がワンフロア・ワンストップサービスなので、区民には大変好評の様でした。

わが町の、公共施設の再配置計画などの検討過程においても町民の意見、要望が十分に反映され、住民満足度を高めることが必要です。議会においても町民の意向が何より重要であることを念頭に、施設整備に関する計画、事業の進ちよく度合いを注視し、将来を見据えた町づくりに資するものにしなければなりません。これらを重視し、さらなる町民の満足度を高めるための提言や調査研究に努めて行くことを学んだ研修でした。



ワンフロア・ワンストップサービスの区役所（新潟市東区）

議会運営委員会 研修

議会運営と議会活性化を学ぶ

10月31日から11月1日の日程で、議会運営委員と議長の7名が参加し、岩手県紫波町と宮城県気仙沼市での研修を行いました。

この度の研修は、昨年を引き続いて、議会基本条例を中心とした活性化への取り組みを学びました。

紫波町議会は、すでに通年議会の導入、議会報告会の開催、議員間の討議の充実、政策形成サイクルの導入などが行われ、平成25年度には議会基本条例の制定が予定されていました。

気仙沼市議会は、東日本大震災後の平成23年6月定例会で議会基本条例が制定されたことにより、定例会後の議会報告会の開催、市民からの意見を一般質問へ反映したり、当局へ市民の意見要望として申し入れをしていました。

この度の研修は、議会基本条例の制定や議員間の討議の実施などを議会活性化特別委員会で検討をすすめながら、できるところから実施していくことが重要であり、町民の皆様の負託に応えられる議会として、議員の資質向上に努めることを学んだ研修でした。



現在、復旧中の被災地（気仙沼市）